



MARUHON

無垢フローリングのお手入れ方法 - コーティング系塗料編

ウレタン塗装をはじめとするコーティング系塗料で仕上げた無垢フローリングは、合板のフローリング同様、お手入れし易いものとされています。しかしながら、生活する中で汚れはついてしまうもの。施工当初のきれいさをキープするためのお手入れのポイントをご紹介します。

日常のお手入れ方法

日常の手入れをしっかりと行うことで、美しさをキープ

基本の手入れ

- ・表面の塵やほこりを掃除機や化学雑巾で除去
- ・固く絞った雑巾で水拭き
- ・汚れを落としたい場合はArbor水性クリーナーワックスを使用

手入れの際に気をつけたいこと

水拭きをする場合は、必ず固く絞った雑巾をご使用ください。表面が塗膜でコーティングされているとはいえ、中の素材は無垢の木材ですので、過度な水拭きはおすすめできません。水をまいてモップを掛けたり、しっかり絞っていない雑巾で拭いたりするのは厳禁。目地に水分が入り込み、木材が水分を吸収すると膨張し反りや割れなどの原因となるため、十分ご注意ください。また、化学雑巾をフローリングの上に長時間放置しておく、化学雑巾に含まれている化学物質に反応して変色するおそれがあります。使用後は、モップ部分が直接床面に触れないように袋などに入れて保管しましょう。

Arbor水性クリーナーワックスとは

弊社で取り扱っている「Arbor水性クリーナーワックス」は、自然原料を主成分としていますので、汚れ落としと表面保護の効果はもちろん、安心してお使いいただけます。汚れの度合いに合わせて水で薄めるだけなので、手軽に汚れ落としのお掃除ができます。また、艶出しのタイプではないため、フローリングの風合いを変えることなく、さっとふき取る感覚でご利用いただけます。

Arbor水性クリーナーワックスが手元にない場合には、市販のフローリング専用のクリーナー(商品によっては艶感が変わることがありますので、目立たないところでお試ください)や、10倍程度に希釈した中性洗剤等で汚れを落とすことも可能です。使用後は必ず、固く絞った雑巾で余分な洗剤を拭き取りましょう。ウェットタイプのフローリング用シートも使用できます。なお、洗剤は直接床に吹き付けずに、雑巾やモップにつけ、余分な水分を絞って使用してください。

大掃除の方法 -ワックスがけ-

ワックスがけのサイクルは、年に一度を目安に

一年に一度を目安に床全体を大掃除(ワックスがけ)することで、コーティング系塗装ならではの光沢を失わず、美しく保つことができます。汚れを落とすと共に、歩行などの摩擦による小さな傷や汚れからウレタン塗装を保護する役割があります。

ワックスがけの手順

表面の塵やほこりを掃除機や化学雑巾で除去

Arbor水性クリーナーワックスを10倍に希釈し、雑巾を浸し、固く絞って全体を拭き掃除



こんなときどうする?-汚れ落としの方法-

黒ずみ・皮脂汚れ

普段、こまめに掃除をしていますが、どうしても黒ずみや皮脂汚れはついてしまうもの。そうした汚れは、「Arbor水性クリーナーワックス」を使って落としましょう。

油ハネの場合

時間が経ってべたつきが気になる場合は、油分解効果のあるキッチン用洗剤(中性)をお湯で薄め、雑巾を軽く湿らせて拭き取りましょう。その後は乾拭きすることを忘れずに。

食べ物・飲み物をこぼした場合

すぐにふき取ることが理想的ですが、時間が経ってシミが残った場合には、水拭きまたは「Arbor水性クリーナーワックス」を用いて、黒ずみや皮脂汚れ同様の手入れをしてください。

マジックインキがついた場合

汚れがついた直後であれば、消しゴムで落とせる場合がありますので、まずは試してみましょう。それでも落ちない場合は、ベンジンやエタノールで拭き取ります。ただし、ツヤがなくなる場合があるので、目立たないところで試してからご使用ください。

傷がついた場合

コーティング系塗装の傷は、ご自身での補修は難しいため、どうしても直したいひどい傷の場合には、専門業者による補修が必要となります。

メラミンスポンジなどは、塗装がはがれてしまうので使用しないでください。

洗剤や薬品等をご利用になる際は、必ず使用上の注意をよく読み、目立たないところで一度試してからお使いください。



株式会社マルホン

〒434-0013
静岡県浜松市浜北区永島 1295
TEL.053-587-0711 FAX.053-587-2339
www.mokuzai.com

木を相^みる。時を結う。

 MARUHON